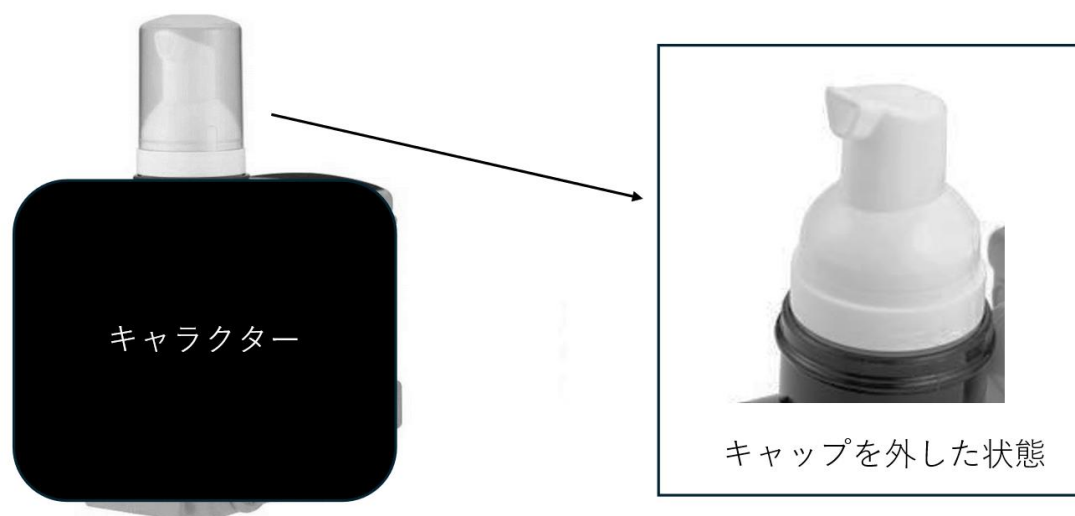


Injury Alert (傷害速報)類似事例

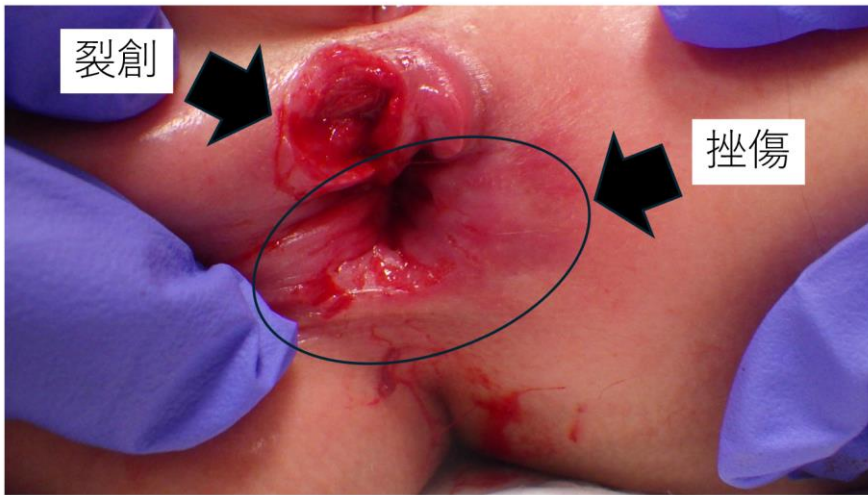
シャンプーボトルによる肛門裂創 (No.64 女児の会陰部外傷の類似事例 4) ㊦

事例	基本情報	年齢：1歳 11か月 性別：女児 体重：11kg 身長：86cm
	家族構成	父、母、兄（3歳）、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		肛門裂創
医療費		入院 888,550円
原因対象	対象名称	こどもシャンプー泡ポンプタイプ (ボトルがキャラクターの形をしているもの、【図1】)
	入手経路 使用状況	入手経路：受傷3か月ほど前にプレゼントでもらったもの。 普段は浴室内の棚の上に置き、入浴の使用時に床におろして使っていた。 透明のキャップは固くて開けにくかったため、2-3週間前から外しており、受傷時にキャップはついていなかった。
発生状況	発生場所	自宅の浴室
	周囲の人 周囲の環境	母、兄と入浴していた
	発生年月日	2024年6月X日(日) 午後9時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	上記時刻、浴室内で兄とおもちゃの取り合いをし、共におもちゃに手をかけていた。兄がおもちゃから手を離れた瞬間に、本児が後方に勢いよく転倒し尻餅をついた。浴室の床に置いてあったシャンプーのボトルの直上に本児の臀部が乗る形で受傷した。受傷直後に排便があり、肛門周囲の創部から出血も認められた。10分程度で止血は得られたが疼痛の訴えが続いたため同日医療機関を受診した。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>仰臥位で frog leg position で創部の診察を試み、肉眼的に静脈性の出血を伴う裂創を認めた。患児の体動が激しかったため、それ以上の詳細な評価は困難であり、小児外科医に相談の上、静脈鎮静下で創部を評価した。会陰部から肛門周囲を詳細に診察し、肛門の 11 時方向に真皮まで達する裂創を認めた(図 2)。その他、肛門周囲の皮膚に浅い挫傷を認めた。また、骨盤部単純 CT を撮影し、直腸穿孔の所見は認めなかった。その後は全身麻酔下での処置が望ましいとの判断により、手術室での処置へと移行し、術後入院管理とした。手術室での評価では、腸管損傷はなく、肛門部の裂創に対して 4-OPDS で 6 針縫合した。術後経過は良好で、術後 4 日目に排便が確認され同日に退院した。術後 11 日目に全身麻酔下での抜糸を目的に入院とした。術後 14 日目に抜糸し、創部離開がなく、肛門ブジーで出血がないことを確認し退院とした。</p>
<p>キーワード</p>	<p>入浴、肛門裂創、シャンプーボトル</p>



【図 1】対象物（こどもシャンプー泡ポンプタイプ(ボトルがキャラクターの形状)）
W113×H156×D69mm。プラスチック。
受傷時は透明のキャップを外して置いていた。



【図 2】 創部所見

会陰部に外傷はなく、肛門の 11 時方向に真皮に至る裂創（約 1.5×0.5cm）を認め、その他肛門周囲に挫傷を認める。